

大阪医療問題連絡会ニュース⑤

2020年3月6日



発行：大阪医療問題連絡会 連絡先：大阪自治労連／大阪市北区天神橋1-13-15
大阪グリーン会館4階 電話／06-6354-7201

各地での取り組みすすむ

<大阪社保協河南ブロック>

市立藤井寺市民病院、済生会富田林病院の再編統合に反対を求める請願書提出

大阪社保協河南ブロックでは、2月18日に大阪府議会会派を周り、25日には6名で、府議会に請願署名を提出しました。

藤井寺社保協は個人の請願署名を4344筆提出、南河内で取り組んでいる藤井寺病院と富田林病院の団体請願署名は第一次分として300筆を提出しました。

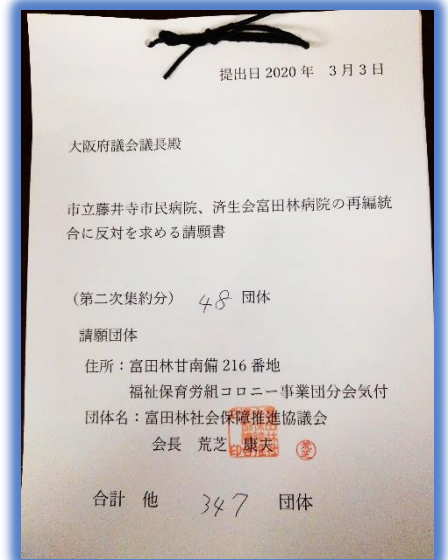
すべての会派に要請し、共産党が紹介議員に

提出に先立って、各会派に紹介議員の返事を伺いに行きましたが、維新は「まだ検討していない、これから検討する」自民も「のちほど返事する」という対応でした。自民については当日夕方に「紹

党は「紹介議員になれない」との返事でした。

無所属会派も返事がなく、秘書の方より「返事がないのは、紹介議員にならないということでは理解してください」という対応でした。

唯一、共産党の議員2人が紹介議員になっていただき、無事署名を提出することができました。



個人署名は4379筆、団体請願署名は348筆

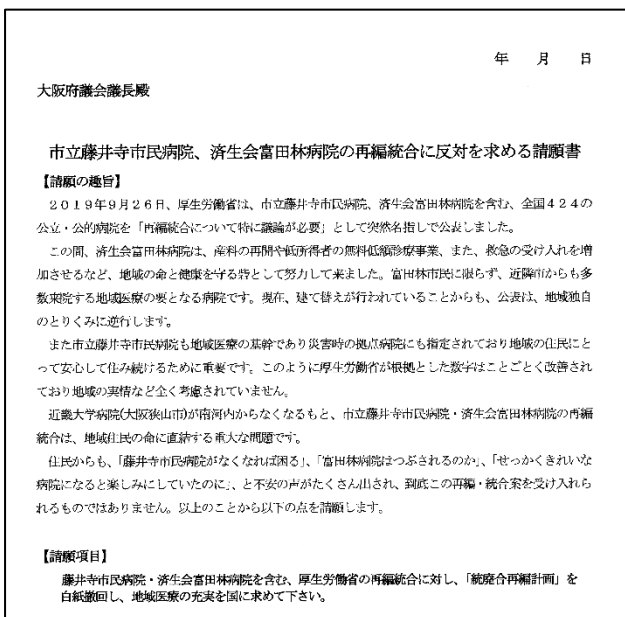
3月3日、3名で府議会議長あてに藤井寺市民病院の個人請願署名と藤井寺市民病院・済生会富田林病院の団体署名を提出しました。

紹介議員の返事がなかった大阪維新の会からは、前日「検討の結果、紹介議員にならない」という返事がありました。結局、今回の請願の紹介議員は共産党の2名(石川たえ・内海公仁)のみでした。

署名のトータルは藤井寺市民病院の個人署名は4379筆、団体請願署名は348筆でした。

地域のことは地域の方で

年末の多忙な時期から取り組み、2月末までの3か月余りで藤井寺・富田林社保協を中心に河南地域の社保協はじめ、労働組合、民主団体の奮闘があってこの数字になったと思います。また活動



の中で、町会や老人クラブなどへの働き掛けも大変有意義で、「地域には病院が絶対に必要」、「頑張っ
てや」という反応に、強い確信がもてた取り組み
でした。「地域のことは地域でないとわからない
し、課題を解決するのも地域の力」ということを
改めて訴えていきたいと思ひます。

府議会は、コロナウイルスの関係で、時間を短
縮して実施され、「傍聴も遠慮ください、ネット配
信を見てください」ということになりました。委
員会の傍聴も予定していただけに残念です。

今後、関係各団体とも連携を取りながら、運動
を進めていきたいと思ひています。具体的には府
に向けての済生会富田林病院の個人署名や国に向
けての署名の推進、その一方で「南河内の医療を
よくする会」の体制づくりと要求の検討など行っ
ていきたいと思ひています。今後とも頑張ってい
きましょう。

<命のとりでを守る会・柏原>

いのちのとりで

柏原市民病院をより良いものに

学習交流会を開催

「どうなる？どうする？市立柏原病院」をテー
マに学習交流会を2月15日開催し、60人が参
加しました。「再編統合リスト」問題の学習と府議
会報告、この集会をもつにいたった経過が報告さ
れ、交流しました。その場で「命のとりでをつくる
会」を結成しました。

3月市議会にむけて2月7日、学習交流会のピ
ラと「『意見書採択』求める要請書」を持って、市
議会各会派へ申し入れを行いました。

自民党の議員も「市民のことが一番」を応じ、
ほとんどの会派が検討を約束してくれました。

しかし、2月17日の柏原市議会の議会運営委
員会で、「要請書」の取り扱いが議論され、「議長あ
ずかり」となりました。市議会で「意見書」を上げ

るには全会一致が求められますが、一部の会派が
意見を「保留」したようです。事実上、「意見書」
採択を棚上げしたことになります。

市長、病院、医師会等へ申し入れ

2月12日、柏原医師会会長の藤江博医師を、
小松久（元府会議員）と地元の方で尋ねました。急
用で外出中のため、受付の女性に手渡しました。

2月18日
には、学習交
流会ピラと集
会アピール、
「意見書採
択」の要請書
の3点を持っ
て、秘書課を
通じて柏原市



長に、市職員労働組合の書記さんに、市立病院事
務局に申し入れ活動をおこないました。（写真はそ
の時病院前にて）。

今後、「命のとりでをつくる会・柏原」の会合を
開いて、学習交流会での意見や「意見書採択」の
「議長あずかり」などの事態を踏まえ、運動方向
を協議します。市民向けのニュースやピラの発行、
署名・宣伝活動など協議していく予定です。

